

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念がある。(私たちは利用者様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう尊厳や個性を大切に、その人らしく生活できるように努めます。)職員全員で考え作った理念。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共有・意識し理念を元に日々取り組んでいる。		職員一人一人が理念をよく理解し、チームワークの和の中で取り組む。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議などでも話題にし、ご家族様や民生委員さんにも意見や助言を頂き日々の生活に取り入れている。		ホームだよりや運営推進会議の中で理解してもらおうにする。本人の意見も取り入れていく。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	行事などの時、声掛けをし参加して頂く。(ボランティアなどの施設訪問時)近所の方々に野菜など頂いたりしている。		立ち寄りやすい環境づくりを心がけたい。現在は玄関の鍵をあける時間が少ないので、ホームたよりなどを配る。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	民生委員や自治会長さんより情報提供して頂き参加の機会を多く儲けたい。		情報を集めてグループホームの行事に取り入れている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ボランティアなど来訪時、地域のお年寄りにも声掛けし、一緒に楽しんでいただく。		継続していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行い、反省すべき点を伸ばしたいことなどを明確にし、向上できるようにする。		死角にならないテーブルの配置づくりをする。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員や自治会長さん、ご家族様の意見を多く聞くことにより行事などに盛り込んでいる。		毎回民生委員さんなどに多く参加して頂き、情報を集めている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域の行事・研修などに積極的に参加し、交流を図っている。		市の研修などに多く参加できるようにしたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市の研修に参加し理解を深める。		時々勉強会などに取り入れていく。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の会議などで話題に取り上げ、取り組んでいる。また外泊時等は注意を払い帰って来たときなど何気なく様子を見ている。		勉強会の中で取り入れていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>本人の希望、家族の希望を十分に理解し利用者様にとって一番良い方法を考える。</p>	<p>不安や分らない点などは再度説明し、わかるように説明する。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様の面会時必ず意見交換している。</p>	<p>苦情・ご意見箱を設置している。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>預かり金報告は毎月している。健康状態は担当者より面会時、電話等で報告している。職員の異動はホームだよりでお知らせしている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に必ず近況報告をしている。</p>	<p>苦情・ご意見箱を設置している。また直接伺い、上司に相談している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のホーム会議又は問題が起きた時点で意見を聞き取り入れている。</p>	<p>今後も会議で検討し、申し送りノートを活用していく</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>あらかじめ行事や状況に応じて人数配置をしているが急な時は職員、パートさんが調整できる体制である。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>極力地元で採用し、やむを得ない異動や退職があった際には利用者様にご理解頂けるよう説明している。</p>	<p>今後も継続し、利用者様が安心できるよう配慮していく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内・ホーム会議内または外部の研修会にて質を高めるような研修に参加してもらっている。		認知症ケア雑誌取り勉強している。書籍も必要に応じ備えている。(介護記録の本)
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修には必ず職員も参加し交流や情報交換の場を作っている。		職員全員年1回は参加している。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	申し送りや勤務交代時には思っている事を話し職員間でストレスの軽減をしている。		福利厚生を充実して欲しい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	常に取り組んでくれている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	今後の生活に活かせるよう入所時に聞く機会を設け、本人の希望や家族の希望を聞いている。		無理やりきかず、話の中から引き出すようにしている。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所面接日に十分理解できるまで説明し、不安を聞き、安心して過ごして頂けるよう見学などして頂く。		ゆっくり見学して頂く。十分な説明。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の希望を聞き、出来ることや、ここまでは出来ると言うことを理解して頂きケアをさせて頂く。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学をして頂き、他利用者と過ごして頂き本人の納得できるケアまた馴染める様スタッフが工夫する。(挨拶や会話)</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様から学ぶ事も多く、分からない事は教えたり、お互い支えあう関係を築いている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様より利用者の生活歴をお聞きし、共有出来たり、支えていくよう努めている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>生活歴を見極め理解に努めている。施設のイベントなど、声掛けし共通の時間を過ごし、楽しんでいただく。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会に来た時は快く受け入れている。時々利用者様に電話を下さる方もいるのでゆっくり話をしてもらったりしている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者様の個性を把握し、うまく関わられるように心がけている。輪になりげゲームや歌を歌ったりしてコミュニケーションを図っている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	例えば退所して入院所にはお見舞いに行ったり、年賀状を出したりとお付き合いをしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の思いや暮らし方を大事にししっかりと踏まえて努めている。		職員より話しかけ、希望等を引き出すよう心がけている。買い物など希望があれば一緒にいく。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様より利用者の生活歴をお聞きし、共有出来たり、支え合って行ける生活を送ってほしい。		経過視察を記録に残す。図書館などに行きたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人一人が利用者様の日々の様子を視察し、会議等日々話し合う。申し送りを密にしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のケアカンファレンスにて話し合い。又担当者を決めて関係者との話し合いを設けている。一人一人の変化を見逃さずチームで共有する。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアマネージャを主として現状に即した新たな計画を作成している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケア記録や申し送りノートに目を通し介護及び計画作成見直しに活かしている。		ケア記録、申し送りノートをつける。
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個々に合わせて柔軟に対応している。		個々に合わせた介護を心がけている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	推進会議に地区民生委員に出席して頂いたり消防訓練を行ったり、警察は近くの文番に顔を出したりしている。ボランティアによる慰問。奉仕の受け入れをしている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	毎月のケアカンファレンスは行っている。他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いはできていない。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	研修等あったら参加して行きたい。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近くの開業医と連携をとっており、適切な医療を受けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の専門医ではないが、近くの開業医と連携はとれている。年1回認知症の評価とテストをしてもらう。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>週1度看護師に訪問してもらい、健康管理や医療全般等は話合っている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>医療機関に出向き、情報交換や連携を図っている。</p>		常に連携を取って行きたい。
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご家族・医療・職員が一体化するよう常に連携をとっている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>週1度看護師に健康管理や医療全般を見極めながらご家族に近況報告し連携をとっている。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご家族・ご本人様に確認し情報を集め、話し合いをして、ケア関係者が常に連携し支援していく。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人の自尊心を傷つけないよう声掛けしている。</p>	<p>職員一人一人が常に心がけている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご本人に合わせ話をし、どれだけ理解しているか計りながら支援している。</p>	<p>ご本人に合わせた対応をして行く。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様一人一人を良く知る事を心がけ、ペースに合わせる。</p>	<p>一人一人の生活を大切にする。</p>
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人の希望を聞き入れられるよう努めている。馴染みの理髪店、美容院に行く。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>声掛けや話し合い、個人の自主性を大切にしている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>病気が悪化しない程度に本人の望むものを楽しんで頂いている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>プライバシーを尊重し利用者の方に合わせ、リハビリや尿取りパットの使用を検討し支援している。</p>		<p>時間やタイミングを見て行っている。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>デイサービスと共同使用のため、決めざるを得ない状況であるが入浴時は利用者様のペースに合わせている。</p>		<p>極力本人の希望を取り入れたいと思っている。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>ホーム内はフローリングで足を伸ばす場所が無く、ほとんどの利用者様が浮腫が目だったので食後、自室のベッドで横になり休息を取ってもらっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>テレビ観賞や大正琴、生け花、読書など利用者様の意思を尊重し、支援している。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様の中には千円程度のお金を財布に入れておく方もいる。主にホーム側で管理し、支払を代行している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>外気浴できるよう外庭でお茶を飲んだり、水遣りをする機会を作っている。はないっばい運動を実施し季節の花絵を楽しんだり散歩を兼ね、ご近所の庭や動物を見に行く。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>地域の行事に参加したり、季節感を味わってもらう為にその時々に応じて外出する。又家族にも協力して頂き自由に外出して頂く。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望する時には職員が電話をかけ自由に会話を楽しんでもらう。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気持ちよく過ごせるよう職員同士で努めている。居室にてゆっくりお話して頂く。		空間、共有する場所を気持ちよく過ごせる環境を整えている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守りや声掛けを強化し、無理強いせず利用者様の訴えや話をよく聞く。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	デイサービスと共同玄関で以前放尿など苦情があり職員の目の届く時間帯(1日3時間程度)にホーム内の扉を開放している。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	気配りを忘れず何気ない素振りや行動でいつでも把握できる体制をとっている。常時ホールに待機し様子を把握している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤や薬品はカーテンなどで目に触れないよう管理している。又石鹼を使用したい利用者様は職員の見守りの元使用している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員全員で話し合い、ヒヤリハット等振り返り勉強を行っている。申し送りや記録を徹底している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作り勉強している。職員の連絡網にて応援体制も整っている。また、AEDを設置し急変に備えている。会議で話し合うと共に訓練をしている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	民生委員さんの協力もあり、災害時の避難場所の確保や地元の消防団の協力もして頂けるようになった。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	月に1度必要な時はその都度ご家族様に利用者の状態を報告している。又ご家族の意向を伺っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化のあった場合は速やかに上司に連絡する。情報が滞ることの無いよう申し送りを強化している。		常に様子視察し、変化の発見に努めている。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の説明書を読み、共通理解している。病状の変化を見逃さない。薬が処方された際には受薬ノートに必ず記入する。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	体操やレクの参加を促し、身体を動かすよう機会を作っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行い、就寝前はポリデントをしている。歯磨きの仕方の助言をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックや十分な水分補給に心がけている。水分摂取量は表に記載している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	職員が分かり易いよう、予防対策、対応を一覧にまとめ、ホーム内に表示し実行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日行っている。まな板、調理用具の消毒、手洗いうがいを徹底している。こまめに掃除をしている。食材はいつも新鮮な物を使用するよう期限をいつも		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	整理整頓をし歩行の妨げにならない花を飾ったり、入所者様や職員の作品を飾ったりして親しみやすくしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾りを工夫し、明るく楽しい雰囲気になるように努めている。		雨天の時、洗濯物が外に干せない時はホール内に干す時もあるので生活に差し障りの無いようにしていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席を仲良しの方と過ごせるよう工夫したりしている。居室は一人部屋でゆっくり過ごせる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使っていたタンスや椅子など使い慣れたもので心地良く過ごせるようにする。家族の写真等飾り、自らしさを生かせるようにしている。		物だけでなく、趣味(読書など)が楽しめるようにも工夫している。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室は様子を見て換気し、空気の清浄に努めている。エアコン調節し利用者様の状況に応じて行っている。		温度の感じ方も皆違うので空調の調節をこまめに行っている。衣服の調整も行っている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険のないようレイアウトを工夫したり家具等を選んでいく。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者様の残存機能に合わせて助言や介助を行うと共に生活用品等も使いやすい品物を選んだり設置したりしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りには花や畑があり、野菜を利用者様と共に育て楽しんでいる。玄関先で外気浴出来るようにベンチを置いていて、のんびり景色を眺め過ごせる。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	たまに	
		ほとんどない	
		大いに増えている	
		少しずつ増えている	
98	職員は、生き活きと働けている	あまり増えていない	
		全くいない	
		ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
		ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
		ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日の生活が安心して過ごせるように外気浴や花などをを見に外にでるよう工夫している。今より花が見られる花壇づくり。年間プログラムを作り外食外出（お花見など）を取り入れて生活に生きがいを作る。